

2020年4月2日

学生の皆さんへ

名古屋学芸大学

新型コロナウイルス感染予防と授業対応

現在、日本全国でコロナウイルス感染が蔓延しており、感染拡大を防止するためにひとりひとりが、感染予防の徹底に留意する必要があります。特に、3つの「密」（換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場面）を避けるよう注意してください。

このような状況下で授業を安全・安心に実施するために、以下の点に留意してください。

1 授業環境の整備

- ・ 授業前後で、石鹸やアルコール消毒を利用し、手洗いを徹底してください。
- ・ 授業中は、マスクを装着し、咳エチケットを徹底してください。
- ・ 座席配置は、隣接した席を避け、一つ置きなど離れて座るようにしてください。
- ・ 授業中は窓やドアを開け、室内の換気をしてください。

2 体調不良時の対応

① 朝出校前に必ず、体温をチェックしてください。

37.5℃以上の発熱、咳（繰り返す空咳）、痰、頭痛、喉の痛み等のかぜ症状がみられる場合は、出校しないでください。

この場合は、指定のアドレス先にGメール等で授業を休む旨連絡してください。その際メールには

- a（体温、咳、咽頭痛、倦怠感、呼吸苦、嗅覚・味覚の異常）
- b（各症状が出現した日）
- c（海外渡航歴の有無）
- d（感染者との濃厚接触の有無）

を書いてください。授業は公欠扱いとなります。

■ 学部等別の連絡先メールアドレス（メールリングリスト）

- ・ 管理栄養学部 kanei_covid19_ml@nuas.ac.jp
- ・ メディア造形学部 media_covid19_ml@nuas.ac.jp
- ・ ヒューマンケア学部 human_covid19_ml@nuas.ac.jp
- ・ 看護学部 kango_covid19_ml@nuas.ac.jp
- ・ 別科助産学専攻 josan_covid19_ml@nuas.ac.jp

② 以下に該当する場合は、コロナウイルス感染の疑いがありますので、出校しないでください。

- ・ かぜの症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている（解熱薬を飲み続けなければ、発熱してしまう場合を含みます）。
- ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。

指定アドレス先にGメール等で連絡の上、「帰国者・接触者相談センター」に相談し、診察結果・検査結果を報告し、指示に従ってください。

- ③ 出校後、教務課で公欠届等の手続きをとって、授業担当教員に公欠届を提出してください。診断書等は不要です。
後日、授業担当教員よりレポートなどの課題が課される場合があります。

3 感染時の対応

- ① 本人が感染した場合
 - ・ クラスアドバイザー又は学部事務室に、発症日、病院（所在地、名称）、診察日を報告してください。本人及び濃厚接触者の可能性があるご家族も出校しないでください。
 - ・ 本人あるいはご家族から、大学（代表電話 0561-75-7111 等により連絡）に報告してください。
- ② ご家族が感染した場合
 - ・ クラスアドバイザー又は学部事務室に、発症者、発症日、病院（所在地、名称）、診察日並びに保健所・医療機関からの指示内容について出校せずに報告してください。
 - ・ この場合は、14日間出校を禁止します。期間中、本人を含む家族の体調に変化があった場合は、大学に報告してください。
- ③ 濃厚接触者と判定された場合
 - ・ クラスアドバイザー又は学部事務室に、発症者及び発症日、発症者との接触日並びに保健所・医療機関からの指示内容について出校せずに報告してください。
 - ・ この場合は、14日間出校を禁止します。期間中、感染が判明した場合、体調に変化があった場合は、大学に報告してください。

4 学内での対応

- ① 通学時
通学時に発熱症状などの感染症状が現れた場合は、帰宅してください。
- ② 学内
学内で発熱症状などの感染症状が現れた場合は、直ちに電話にて保健室（0561-75-2545）に連絡して指示に従ってください。授業中に発熱症状などの感染症状が現れた場合は、授業担当教員に遠慮なく申し出てください。

5 その他の注意事項

- ・ 当面の間、海外への渡航は禁止です。
- ・ 当面の間、クラブ・サークル活動等は禁止します。また、不要不急の会合、セミナー、研修会、パーティーの参加を自粛してください。加えて、アルバイトについては、3つの「密」（換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場面）となるものは、自粛してください。